OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

プロフィール（Profile）

氏名（Name）坂倉　央子
所属（School）工学研究科
航空宇宙海洋系専攻 航空宇宙工学分野
学年（Grade）博士前期課程１年

留学先（Name of overseas institution）
国立成功大学（台湾）
留学期間（study abroad period）
2019/9/4~2020/7/4

記入日（Date）2020/7/14

留学レポート Study Abroad Report

✈はじめに

私は 2019 年 9 月から 2020 年 6 月までの 1 学年間、台湾の国立成功大学（NCKU）へ交換留学しました。NCKU では、航空太空工程学系(Department of Aeronautics and Astronautics)の修士課程 1 年生に所属していました。留学の動機は、中国語及び英語の能力を向上させたい、外国で航空宇宙工学を現地の学生と肩を並べて学んでみたい、異文化を通して自文化・自分について考えたい、といったところです。中国語については 4 年間第二外国語として履修し、短期の語学研修にも参加していたので、長期留学でもっと力をつけたいと思っておりました。また、大学４年生の頃に NCKU のサマースクールに参加したことも NCKU を留学先として選ぶ決め手になりました。航空宇宙工学を現地で学ぶにしてもある程度日本で勉強してからのほうが良いと思ったのでこの博士前期課程 1 年というタイミングで留学することにしました。

✈国立成功大学（NCKU）の授業

NCKU では、専門科目をいくつかと中国語の授業を受けていました。専門科目は、中国語開講のものと英語開講のものを受けました。NCKU は台湾でトップクラスの大学で、航空宇宙工学分野では台湾最高峰なので、専門科目の選択肢も多く、授業のレベルも高いので非常に刺激を受けました。

私は交換留学生ですが、正規生の台湾人や留学生と一緒に授業を受けることができて良かったと思います。中国語の授業自体は週 1 回だけだったので、中国語が身に着くか不安でしたが、中国語開講の授業や日常生活を通じて向上させることができたと思います。また、府大での研究分野に近い研究室のミーティングにも参加させていただき、同じ年代の学生のレベルの高い研究を肌で感じることができて非常に良い経験でした。

台湾では学部時代から英語で書かれた教科書や資料を用いて授業が行われることが多いので、英語の重要性を再認識すると同時に、母語で専門科目を学べる日本の環境に感謝したいと思いました。関連して、自国で自分の専攻に関する産業が発展していることは本当にありがたいことだなと思いました。授業中や、台湾の学生と将来の話をするときに、この環境を今までどこか当たり前だと感じていた自分にハッとしました。将来は世界を見据えながら日本の航空宇宙産業に貢献できる人になりたいと改めて思うことができました。

また、交換留学生は基本的にどの学部のどの学年の授業でも履修できるので、以前から興味のあった経済の授業も受けました。専攻以外の授業を履修できるのも交換留学の魅力だと思います。

NCKU のシンボル
昭和天皇が植樹されたガジュマルの樹

航空棟と広場

Airline Management の最終授業にて

✈台南の生活

留学中は大学内の寮に住んでいました。2 人部屋で前期は日本人の学生、後期はインド人の学生がルームメイトでした。台湾の学生寮はプライバシーがない環境なので、はじめは不安でしたが、慣れるとルームメイトとの交流も楽しむことができて良かったです。日本人の学生とは専攻も学年も違いましたが、興味あることが似ていてよく一緒に出かけたり、部屋で議論したりしたのも良い思い出です。インド人の学生は専攻が同じだったので、刺激を受けたり、インド文化や学生のことを知れて興味深かったです。私はルームメイトにとても恵まれたと思います。留学しなければ、初めて出会った人と共同生活を行うことはなかったので大切な経験だと思います。

台湾は外食文化なので、寮にもキッチンはなく、毎日外食かテイクアウトをしていました。台湾の中でも台南は美食の街と言われていて、毎日の食事はとても楽しみでした。

台南の気候は一年中温暖で、1 月でも半袖を着ていたのを覚えています。長い夏はとても暑く、蚊や各種虫との闘いはありましたが、晴れの日が多く、気分が晴れやかな日が多かったと思います。街の規模も都会過ぎず、田舎過ぎず、古都ののんびりした雰囲気が好きでした。しかし、交通にだけは気を付ける必要がありました。私は留学中に交通事故に遭ってしまったので、痛感しています。この交通事故の処理を通して、日本と台湾の違いを感じたり、お世話になった方々の優しさにふれました。

寮の部屋

台南美食

芒果

✈台湾の思い出

まず、台湾で、これからも連絡を取り続けたいと思える人たちに出会えることができて良かったと思います。台湾人と日本人という形でスタートした関係も、次第に人と人としての関係を大事にしたいなと思えることができました。特に同じ航空宇宙工学分野の学生と将来同じフィールドで働くことができたらおもしろいだろなと思います。

日々の食事や台南市内観光をルームメイトや台湾の学生と共にしたことも貴重な思い出です。また、私は旅好きなので冬休み中に台湾東部を 1 人旅したり、時間がある週末に台北、台中、高雄などを訪れ美しい自然や街を楽しみました。旅先での台湾の方々との交流も楽しかったです。中国語が話せれば話せるほど楽しくなりました。春節のときには、友人の実家にお邪魔させてもらい伝統的な食事などをいただきました。春節以外に台湾にもいくつか連休がありますが、実家に帰る学生が多く、家族とつながりが強い中華文化を垣間見ました。

1 月には 4 年に 1 度の総統選挙がありました。台湾での選挙熱は非常に高く、若者の意識も高く、想像以上に驚きました。私も選挙前の集会に参加して、蔡英文総統を間近で見たときは興奮したのを覚えています。台湾の学生と食事をしていると、よく政治が話題になりました。みんな議論できるほどの知識があって非常に感心しました。その背景には、両岸関係（台湾と中国）や香港問題があり、同じ東アジアに生きる日本人としてしっかり知る必要があると思いました。政治や政府にあまり関心がなくても、ぬくぬくと生きていける、その平和ボケが許される国に生まれて良かったと思いながら、日本とは、日本人とは等、自分なりに考察したりもしました。

また、台湾を知るためにいろいろな場所に赴いたり調べたりしました。特に、台湾の歴史は日本人の私からするととても複雑で考えさせられることが多いです。台湾では日本統治時代（1895 年～1945 年）の建物や資料が丁寧に保存されていて、他国にいながら自国の歴史を知ることができて本当にありがたいと思います。

コロナ対策についても世界的に成功したと言われる台湾でこの期間を過ごしたことは、台湾を知る上でも日本を客観的に見る上でも貴重な経験だったと思います。後期も普通に大学に通って対面で授業を受けたり、自由に買い物や旅をして、マスクやアルコールも買える、台湾の恩恵を受けてありがたかったです。

ルームメイトと台南の観光地へ

鉄道研究社（部活）で阿里山へ

研究室の先輩方と烏山頭ダムへ花見

春節のときの食事

総統選挙前の集会

居留証提示で購入できるマスク

✈おわりに

交通事故に遭ったり、台湾総統選挙を見たり、コロナの影響を目の当たりしたりと、いろいろあった留学でしたが、すべての経験がこれからの自分をつくっていくと思います。性格が大きく変わったとかはありませんが、自分にもっと自信をもって、自分は自分・他人は他人だから自分らしい生き方をしようとより一層思えるようになりました。留学に行って終わりではなく、留学で得たもの、気づいたことを意識しながらこれからを生きていきたいです。私は留学により卒業が 1 年遅くなりますが、社会に出る前に留学という形で時間をつくり外国で刺激を受け、自分についても考えることができたこの 23 歳の 1 年は私の人生でとても大事な時間だったと思います。この留学を可能にしてくれた、府大・NCKU 両大学の先生や職員のみなさん、支えてくれた家族や友人、台湾で出会った方々、お世話になった全てのみなさんに感謝します。ありがとうございました。

✈留学を考えている方へ

私は府大に入学したとき、「留学したいけど、結局しないんだろうな」と思っていました。しかし、大学 2 年のときに台湾での語学研修に参加して、長期留学したいという思いが強くなりました。この語学研修に参加してから、国際交流課のみなさんにお世話になることが何回かあり、NCKU でのサマースクールも紹介していただきました。留学中も手厚くサポートしていただきました。大学 2 年のときに少し勇気を出したことで、自分にとって留学や国際交流課が近い存在となり、気づいたら留学していました。私は中国語も英語も中途半端な学力で、コミュニケーション能力も高くないですが、憧れだけである程度何とかなったと思います。社会人になってからでも留学の機会はあるかもしれませんが、学生のときのほうが可能性は高いと思います。もちろん留学には経済的な負担が伴うので、簡単には言えませんが、得るものも大きいので、ぜひチャレンジしてみてほしいと思います。